
なぜ十勝でHACCPの輪が広がったのか

所属 HACCP十勝倶楽部

氏名 上川原 剛弘

「食品製造業におけるHACCPの導入状況実態調査」の平成29年度調査結果では、売上規模が小さくなるほどHACCP導入割合は下がり、小規模企業へのHACCPの周知・導入が大きな課題としてあげられている。

帯広十勝地域は、産学官連携により中小企業への北海道HACCP導入を支援した結果、一定の成果が現れており、地域の導入企業数の推移や十勝食肉事業協同組合の有志企業によるHACCP勉強会実施から導入への取り組み、地域内の導入企業同士が連携し、互いに監査員を派遣し合う「地域内監査」への挑戦、北海道HACCPから更なる第三者認証取得への取り組みなどを紹介する。

また、成果を振り返り、帯広十勝地域にHACCPの輪が広がった要因を明らかにすることで、小規模企業へのHACCP導入を推進するために重要な要素について検討する。

【講演者の紹介】

紹介文

2010年帯広市役所入庁。2013年から4年間、地域における中小企業のHACCP導入支援事業を担当。十勝管内の北海道HACCP取得企業が中心となり2018年に設立した「HACCP十勝倶楽部」にも所属。